

大阪・関西万博「Co-Design Challenge」における
ブランディング・プロモーション計画実施業務（2024年度）
事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 選定手法

事業者（6者）から提案のあった内容について、4名の選定委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定いたしました。なお、審査にあたっては、令和6年7月17日から7月23日に事業予定者選定委員会の書面審査を実施し、選定委員による採点（100点満点）を行いました。

2. 選定結果

最優秀提案事業者（契約候補者）

大阪・関西万博「Co-Design Challenge」共同企業体（代表構成員：株式会社読売新聞大阪本社）

評価点 82.70点（提案金額 税込 18,749,999円）

3. 提案事業者（五十音順）

大阪・関西万博「Co-Design Challenge」共同企業体（代表構成員：株式会社読売新聞大阪本社）※再掲

株式会社サニーサイドアップ

株式会社新通

株式会社トライアウト

KDDI株式会社

Story Design house 株式会社

4. 評価点（点数順）

82.70点 ※再掲

70.60点

66.20点

65.70点

63.80点

63.80点

5. 最優秀提案事業者の選定理由（講評、抜粋）

- ・ 取材力及びメディアとの連携が良い。英語への展開、海外への展開力もある。実行力や理解力も高く、企画実行力も高いとうかがえる。
- ・ PR 実施期間もそれなりにとり、トータルでの広報力が最も高い。映像コンテンツなどは今後も活用でき、取材対象の認知を向上することにも使える。KPI 設定が高く、実現すると大きな波及が見込まれる。

6. 選定委員会委員（50 音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
楠本 淳	2025 年日本国際博覧会 広報・プロモーションディレクター	Co-Design Challenge の広報について、提案内容が開発時の PR につながる効果的なものになっているのか等、広報・ブランディング担当ディレクターの視点から審査を行っていただくため。
小西 利行	POOL Inc. Creative Director	Co-Design Challenge の広報について、過去に多数の広告、ブランディング事業を手掛けられた豊富なご知見からのご意見をいただくとともに、博覧会協会の Expo Outcome Design Committee のメンバーとしての視点を踏まえて審査を行っていただくため。
齋藤 精一	大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクター	Co-Design Challenge の広報について、提案内容が開発時の PR につながる効果的なものになっているのか等、大阪・関西万博 EXPO 共創プログラムディレクターとしての視点から審査を行っていただくため。
矢島 進二	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事	Co-Design Challenge に“デザイン”の観点・視点を取り入れるべく、デザインに関する幅広い知見をお持ちであり、長年デザインプロモーション事業に携わっておられる経験から審査を行っていただくため。

以上